努力事項解説　その10　①　（特別活動・学校行事）

指導内容を精選・重点化し体験的な活動の充実を図るとともに、
特別活動の特質を生かし、道徳的実践の指導の充実を図りましょう。
～　その1　～

指導内容を精選・重点化し体験的な活動の充実を図るとは

次のような方法で、精選・重点化を進めましょう。

内容を踏まえて、行事を統合する

例えば、文化的行事の例示として、学芸会、学習発表会、作品展示会、音楽会、読書感想発表会、クラブ発表会、音楽鑑賞会、演劇鑑賞会、地域の伝統文化等の鑑賞会などが示されていますが、児童が各教科などにおける日頃の学習の成果を総合的に発展させ、発表し合い、互いに鑑賞する行事として学芸会を実施し、児童の手によらない作品や催し物を鑑賞する行事として地域の伝統文化等の鑑賞会を実施するなどです。

内容を踏まえて、行事間の関連を図る

学校行事における「行事間の関連を図る」とは、別々の学校行事を同じ時期に実施するなど指導の関連を図り、より効果的、効率的に学校行事の目標を追求しようとすることです。例えば、文化的行事として行った学習発表会の成果を生かして、儀式的行事の離任式において、学習発表会で披露した児童の発表を披露するなどです。

内容を踏まえて、行事間の統合を図る

学校行事における「行事間の統合」とは、別々の学校行事を一つの学校行事に組み合わせて実施するなど、学校行事に充てる授業時数を精選し、より効果的、効率的に目標を追求しようとすることです。例えば、遠足・集団宿泊的行事において長期の集団宿泊活動を行う場合、登山などを実施した際に勤労生産・奉仕的行事として清掃活動を行うなど、遠足・集団宿泊的行事と勤労生産・奉仕的行事を統合して実施するなどです。

なお、その際、学習指導要領の勤労生産・奉仕的行事には、「勤労の貴さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと」と示されていることから、勤労の貴さを体得する内容だけでなく生産の喜びを体得する内容の学校行事を別に実施する必要があることに留意する必要があります。

体験的な活動を通して気付いたことを振り返る活動を行う

学校行事においては、特に、言語力の育成や体験したことからより多くのことを体得させる観点から、「体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動を充実する」ことが求められています。その際、その場限りの体験活動で終わらせることなく、事前にそのねらいや意義を児童に十分理解させ、活動についてあらかじめ調べたり、準備したりすることができるようにするとともに、活動の節目や事後に、話す、聞く、読む、書く、などの活動を効果的に取り入れることが求められています。例えば、集団宿泊活動の実施にかかわって、感想文集にまとめたり、お世話になった方々に手紙を書いたり、発表会をしたりすることが考えられます。

（小学校学習指導要領解説特別活動編より）

　今回は「指導内容を精選・重点化し体験的な活動の充実を図るとは」について考えてみました。
　次回は、「特別活動の特質を生かし、道徳的実践の指導の充実を図りましょう。」について考えていきます。

　11月15日（金）頃アップの予定です。